

## 「実証研究および実践研究の科学性」

コーディネーター：亘理 陽一(静岡大学)

発表者： 藤田 卓郎(福井工業高等専門学校)  
草薙 邦広(広島大学)

本セミナーでは、実証研究および実践研究という2つの観点から、英語教育の科学性について掘り下げて考えたいと思います。実証研究の観点からは、これまで「科学的」という旗印のもとでなされてきた教育実践および研究実践を批判的に概観した上で、特に「教育及び研究概念の共認不可能性」に着目して、過去の実践が内包し続けてきたある問題点について指摘します。具体的には、共認不可能性が私たちにもたらす帰結について考え、その後、構造構成主義によるアプローチと数理的アプローチという一見異なる研究姿勢を題材にしなが、これらがどのような切り口で共認不可能性の問題を克服しようとするか紹介したいと思います。

実践研究の観点からは、実践研究と科学的研究の違い、実践研究法の種類、具体例について考えていきたいです。特に、研究目的、研究テーマの決め方、データの収集方法、研究結果の一般化について、科学的研究と比較しながら考えていきたいです。これらを踏まえて、よりよい実践研究を行うためのポイントを紹介したいと思います。